

## 春季リーグ戦男子1部1週目の試合結果について

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

(本メールアドレスへの返信はできません。)

お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部、部長・男子監督の和泉です。

この土日に行われた春季リーグ戦のうち、広島大学北体育館会場での男子1部に出場した男子部の結果をお届けします。

4/20 (土)

vs 広島経済大学

25-17

25-23

25-22

勝 3-0

vs 福山平成大学

16-25

9-25

20-25

敗 0-3

4/21 (日)

vs 島根大学

25-18

25-21

25-23

勝 3-0

vs 東亜大学

11-25

11-25

12-25

敗 0-3

稲葉（OH・愛媛・松山東高）、樋口（L・広島・安古市高）という攻守の個人賞経験者が抜け、厳しい戦いが予想された中、2勝2敗という結果となりました。

勝利した広島経済大学戦、島根大学戦では、水谷（L・三重・松阪高）、保坂（OH・広島・修道高）を中心とした安定したサーブレシーブから、新セッター丹羽（S・広島・盈進高）がライト側の村上（OP・岡山・玉野光南高）を幅広く効果的に使ってポイントを重ね、接戦のまま後半にもつれる展開が多くありました。中盤から終盤にかけてはレシーバー出口（R・長崎・五島高）を含む全員守備でラリーを続け、苦しい二段トスを山下（OH・広島・安古市高）が打ち切って、セットを制することができました。特に広島経済大学戦では、個々の力では相手の方が上回っている部分も多く、チームとして練習試合や合宿を重ねて熟成させてきた成果が表れた部分であったと思います。

敗戦した福山平成大学、東亜大学戦では、力強いジャンプサーブとバックアタック（4枚目の攻撃）に押され、終始主導権を握られる展開でしたが、強いサーブで相手を崩す展開もあり、今後の課題を多く得る試合となりました。特に、リバウンドの取り方については、2週目までの間にもしっかりと対策が必要と考えています。

新戦力の出番もあり、次に向けて楽しみが多くあります。

今週末はやまぐちリフレッシュパークにおいて2週目が行われます。まだまだ不完全燃焼のミドルブロッカー高橋（MB・北海道・札幌北高）、佐々木（MB・佐賀・佐賀西高）の爆発にもご期待いただければと思います。

1週目はホームの北体育館での開催ということもあり、多くの保護者や観客のみなさんに応援をいただきました。ありがとうございました。

また、OBの先生方も含め審判の方にも大変お世話になりました。

これからも熱い試合をお見せできるよう努力して参りますので、応援くださいますようお願いいたします。